

問1	足利義政が将軍を務めていた時期の政治・社会情勢について述べた文として、正しいものはどれですか。 （2015年 山口県公立入試 類似）			
	1. 将軍の後継者問題をきっかけの一つとして応仁の乱が起こり、戦乱が11年も続いて京都が荒廃した。	2. 織田信長による天下統一が進み、室町幕府の最後の将軍が京都から追放された。	3. 幕府の権威が全盛期を迎え、明との勘合貿易によって経済が飛躍的に発展した。	4. 元（モンゴル帝国）による二度の襲来に対し、執権を中心に全国の御家人が一致団結して戦った。
問2	ある地域の歴史年表において、400年頃の古代から1863年の近代までの流れが示されています。このうち、1398年が含まれる院政期から室町時代の終わり頃までの時代区分を指す名称として適切なものはどれですか。 （2017年 鳥取県公立入試 類似）			
	1. 古代	2. 近世	3. 中世	4. 近代
問3	14世紀後半から15世紀にかけて、琉球王国がアジア各地の産物を集め、国際的な貿易拠点として成長できた背景について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。 （2024年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 明（中国）への朝貢を通じて得た中国の産物や、東南アジアの香辛料、日本の刀剣などを互いの地域へ転売する仕組みを築いたため。	2. 江戸幕府から派遣された長崎奉行による管理のもと、出島を通じてオランダや清との独占的な取引を認められていたため。	3. 幕府の将軍の代替わりごとに謝恩使や慶賀使を派遣し、日本国内における貿易の独占権を公式に認められていたため。	4. 朝鮮半島で創られたハングルなどの文字文化を積極的に取り入れ、周辺諸国との外交交渉を有利に進めることができたため。
問4	室町時代、足利義政が築いた東山文化において確立された、畳を敷き詰め、襖や障子、床の間などを備えた建築様式を何といいますか。現代の和室の原型ともなった名称を答えなさい。 （2021年 奈良県公立入試 類似）			
	1. 校倉造	2. 唐様	3. 書院造	4. 寝殿造
問5	室町時代後期の15世紀後半、京都の東山に山荘を築いた第8代将軍の足利義政は、禅宗の影響を受けた簡素で気品のある「東山文化」を築きました。この文化を代表する建築物で、二層の楼閣からなり、下層に住宅様式の新しい特徴が見られるものを次の中から選びなさい。 （2023年 島根県公立入試 類似）			
	1. 銀閣（慈照寺）	2. 唐招提寺金堂	3. 平等院鳳凰堂	4. 金閣（鹿苑寺）
問6	室町時代に全国へと普及した、一年の間に同じ田畑で米と麦のように異なる作物を交互に栽培する農法を何と呼ぶか、最も適切なものを選びなさい。 （2022年 岐阜県公立入試 類似）			
	1. 輪作	2. 転作	3. 二期作	4. 二毛作
問7	室町時代に現れた北山文化や東山文化などの具体的な事例について述べた文として、正しいものはどれか。 （2020年 福岡県公立入試 類似）			
	1. 浮世絵や歌舞伎など、都市の商人の好みを反映した娯楽が全国に普及した。	2. 文明開化の波を受け、レンガ造りの建物や洋服といった新しい風俗が取り入れられた。	3. 唐招提寺の建築のように、遣唐使が持ち帰った大陸の文化がそのまま再現された。	4. 金閣や銀閣の建築に代表されるように、公家の優雅さと武家の精神が組み合わさった。
問8	室町時代中期の1467年に始まり、細川勝元と山名宗全の対立などを背景として11年間にわたって続いた、戦国時代の幕開けともされる戦乱の名称として正しいものを、次の中から選びなさい。 （2025年 大阪府公立入試 類似）			
	1. 保元の乱	2. 観応の擾乱	3. 承久の乱	4. 応仁の乱
問9	室町時代に足利義満が再開した日明貿易において、日本側がとった対外的な姿勢とその背景について述べたものとして、最も適切なものはどれか。 （2024年 福井県公立入試 類似）			
	1. 明の皇帝に対して臣下の礼をとる「臣従」の形式（朝貢）をとり、日本国王の称号を得ることで、貿易の利益とともに国内での将軍の権威を高めようとした。	2. 朝鮮半島での利権をめぐる明と対立したため、宗教的な結びつきのみを重視し、経済的な交流を一切断つ姿勢をとった。	3. 倭寇の活動を支援する立場から、明の皇帝に対しては独立した国家であることを宣言し、朝貢の形式を拒否し続けた。	4. 明の皇帝と対等な立場での国交を求め、武力を背景にして、勘合を用いない自由な貿易路を確保しようとした。
問10	室町時代、商工業者が公家や寺社などの権力者に税を納める代わりに、商品の販売や製造の独占権を認められていた同業者組合を何と呼びますか。 （2020年 徳島県公立入試 類似）			
	1. 座	2. 問	3. 株仲間	4. 町衆
問11	室町時代における経済制度の一つである「座」の仕組みについて、当時の社会背景を踏まえた説明として正しいものはどれですか。 （2016年 広島県公立入試 類似）			
	1. 武士が商業を管理するために組織したもので、農村から都市への人口流出を防ぐことを目的としていた。	2. 織田信長が楽市・楽座を導入したことにより、それまで座が持っていた特権が全国でさらに強化された。	3. 商人や手工業者が有力な寺社や公家に所属し、奉仕や納税を行うことで、他者の営業を排除する特権を得ていた。	4. 外国との貿易を円滑に進めるために作られた公的な機関であり、銀の輸出を独占的に行っていた。
問12	日本の歴史における文化作品とその時代背景について述べた次の説明のうち、室町時代の東山文化に該当するものはどれですか。 （2017年 沖縄県公立入試 類似）			
	1. 龍安寺にある、水を用いず石と砂のみで自然の風景を表現した石庭	2. 尾形光琳によって描かれた、徳川綱吉の時代の華やかさを象徴する風神雷神図屏風	3. 出雲の阿国が京都で始めたとされる、後の歌舞伎の原型となった芸能	4. 狩野永徳によって描かれた、金箔を多用し力強い筆致が特徴の唐獅子図屏風
問13	室町時代の対外関係について述べた次の文のうち、三代将軍足利義満が行った政策として正しいものはどれですか。 （2025年 神奈川県公立入試 類似）			
	1. 元軍による二度にわたる侵攻を退けた後、中国大陸との交流を一時中断した	2. 明の皇帝から「日本国王」に封じられ、朝貢の形式をとる勘合貿易を開始した	3. キリスト教の広まりを警戒し、欧州諸国との貿易を平戸と長崎の二港に制限した	4. 琉球王国を仲介役として、東南アジア諸国との間で中継貿易を盛んに行った

答え合わせ・解説

問1	答え 1 将軍の後継者問題をきっかけの一つとして応仁の乱が起こり、戦乱が11年も続いて京都が荒廃した。	義政の跡継ぎを巡り、妻の日野富子や有力守護大名の細川氏・山名氏らが対立したことで、1467年に応仁の乱が勃発しました。この戦乱によって幕府の統制力は失われ、実力のある者が上の者を倒す「下克上」の風潮が強まり、戦国時代へと突入することになりました。
問2	答え 3 中世	日本の歴史区分では、律令国家が成立した古代の後に続き、武士が政治の表舞台に現れる院政期から、室町幕府が滅亡するまでの時期を「中世」と呼びます。1398年は室町幕府の第3代将軍である足利義満が、京都の北山に金閣を建立するなど権力を振るっていた時期に当たります。
問3	答え 1 明（中国）への朝貢を通じて得た中国の産物や、東南アジアの香辛料、日本の刀剣などを互いの地域へ転売する仕組みを築いたため。	琉球王国は明との朝貢関係（中国の皇帝に貢ぎ物を届ける形式の貿易）を維持しつつ、そこで得た絹織物や陶磁器を日本や朝鮮に運び、逆に東南アジアからは香料や染料、日本からは刀剣や銀などを仕入れて各地へ運ぶ中継貿易を行いました。選択肢にある長崎奉行や幕府への使節派遣（謝恩使・慶賀使）は、17世紀以降の薩摩藩による侵攻後の状況であり、15世紀の繁栄の理由としては不適切です。
問4	答え 3 書院造	室町時代の東山文化では、禅宗の影響を受けた簡素で機能的な武家の好みが反映されました。慈照寺東求堂同仁斎（じしやうじとうぐどうどうじんさい）に代表されるこの様式は、書斎としての機能を持つ「書院」や「違棚（ちがいだな）」を備え、現代の和風住宅の基礎となりました。平安時代の貴族の住居様式である寝殿造とは、床に畳を敷き詰める点などで大きく異なります。
問5	答え 1 銀閣（慈照寺）	足利義政によって建てられた銀閣は、東山文化の象徴的な建築物です。1層目は「書院造」という住宅様式で造られており、2層目は禅宗様式の仏殿となっています。華麗な金閣（北山文化）とは対照的に、わび・さびを感じさせる落ち着いた美しさが特徴です。
問6	答え 4 二毛作	鎌倉時代に西日本から始まり、室町時代に全国へと広がったこの農法は、夏に米を、冬に麦を栽培する形式が一般的です。一年に同じ作物を2回収穫する「二期作」とは、栽培する作物の種類が異なる点で区別されます。
問7	答え 4 金閣や銀閣の建築に代表されるように、公家の優雅さと武家の精神が組み合わさった。	足利義満が建立した金閣は公家文化と武家文化の融合を象徴し、後の足利義政による銀閣は、禅宗の精神を取り入れた書院造を特徴としています。これらは室町時代の「公家文化と武家文化の融合」を具体的に示す事例です。選択肢にある町人文化（浮世絵など）は江戸時代、遣唐使の影響は飛鳥・奈良文化、文明開化は明治時代の事象です。
問8	答え 4 応仁の乱	足利将軍家の跡継ぎ問題と、幕府の政治を支える有力な守護大名の権力争いが結びついた戦乱です。京都での戦いは長期化し、守護大名たちが領国を離れて京都に滞在し続けたため、各地の在地勢力が力を蓄える結果となりました。
問9	答え 1 明の皇帝に対して臣下の礼をとる「臣従」の形式（朝貢）をとり、日本国王の称号を得ることで、貿易の利益とともに国内での将軍の権威を高めようとした。	足利義満は、明との正式な貿易を開始するにあたり、明を中心とした国際秩序に組み込まれることを選択しました。具体的には、明の皇帝に対して臣下としての礼をとる「臣従」の形式（朝貢貿易）をとり、自らを「日本国王」と称しました。これにより、明から正式な貿易の許可を得て莫大な利益を上げると同時に、中国の皇帝から認められた統治者としての地位を、日本国内の守護大名などに対する権威付けに利用しました。
問10	答え 1 座	平安時代から室町時代にかけて、商人や手工業者は「座」を結成しました。彼らは「本所」と呼ばれる貴族や大寺社に奉仕や税を捧げることで、関所の通行税免除や商品の独占販売権などの特権を得ていました。この仕組みは、後に織田信長が「楽市・楽座」によって特権を廃止し、自由な貿易を促すまで続けました。選択肢の「株仲間」は江戸時代に幕府の公認を得て活動した組織です。
問11	答え 3 商人や手工業者が有力な寺社や公家に所属し、奉仕や納税を行うことで、他者の営業を排除する特権を得ていた。	座は、当時の有力な権力者である寺社や公家に属することで、自分たちの商売を保護してもらう仕組みでした。これにより、特定の地域や市場で特定の品物を独占的に売ることができ、新規参入者を防いで利益を確保しました。戦国時代になると、城下町の活性化を目指す大名たちが、この座の独占権を否定する「楽市・楽座」の政策をとるようになり、自由な取引が奨励されるようになります。
問12	答え 1 龍安寺にある、水を用いず石と砂のみで自然の風景を表現した石庭	龍安寺の石庭は室町時代の東山文化を代表する作品です。他の選択肢について、唐獅子図屏風や阿国歌舞伎は織田信長や豊臣秀吉が活躍した安土桃山文化の特色であり、尾形光琳の作品は江戸時代の元禄文化に属します。時代ごとの担い手や好みの違いを区別することが重要です。
問13	答え 2 明の皇帝から「日本国王」に封じられ、朝貢の形式をとる勘合貿易を開始した	足利義満は、巨大な帝国であった明との貿易による利益を重視し、明の皇帝に対して臣下の礼をとる「日本国王」の称号を受け入れました。これにより、形式上は中国の皇帝に貢ぎ物を捧げる「朝貢」という形での貿易が始まりました。選択肢にある元軍への対応は鎌倉時代の北条時宗、貿易港の制限は江戸時代の幕府、琉球王国による中継貿易は主に尚氏による統治下の出来事であり、義満の政策とは異なります。

- 問1 14世紀末から16世紀半ばにかけての明（中国）側の記録によると、明へ朝貢を行った回数はシャム（73回）や朝鮮（30回）に比べて琉球王国が171回と極めて多いことが分かっています。この時期に琉球王国が行っていた貿易の実態について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2025年 徳島県公立入試 類似）
1. 明へ日本産の漆器や刀剣を輸出し、その見返りとして明から大量の香木や香料を直接仕入れていた。
 2. 東南アジアから輸入した銅銭をそのまま明へ輸出し、明から高級な漆器を大量に買い付けていた。
 3. 明から陶磁器や銅銭を得て、それを東南アジアの香料や香木とともに日本などの周辺諸国へ転売していた。
 4. 明への朝貢回数は他国より制限されていたため、主に日本との直接取引だけに限定して貿易を行っていた。
- 問2 日本の中世（鎌倉時代・室町時代）において、馬を利用して荷物を運送し、物資の流通に重要な役割を果たした業者を何と呼びますか。（2022年 茨城県公立入試 類似）
1. 馬借
 2. 問丸
 3. 酒屋
 4. 土倉
- 問3 室町時代の商業発展について記された資料の中で、土倉や酒屋などの商人が「座」を結成していた背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2021年 岐阜県公立入試 類似）
1. 江戸幕府の許可を得ることで、全国規模での卸売権を確立するため
 2. 公家や寺社に税を納めることで、他者の参入を防ぐ独占権や保護を得るため
 3. 農村の自治組織として、領主に対して年貢の減免を交渉するため
 4. 生産者から商品を直接買い取り、都市の小売商人に分配する仕組みを作るため
- 問4 「明軍と倭寇の戦い」が描かれた資料と、「紫式部による国風文化」が描かれた資料を比較したとき、それぞれの時代背景を説明した組み合わせとして正しいものはどれか。（2021年 北海道公立入試 類似）
1. 江戸時代と鎌倉時代
 2. 鎌倉時代と平安時代
 3. 室町時代と奈良時代
 4. 室町時代と平安時代
- 問5 1467年に始まった応仁の乱は、京都を主な戦場として11年近く続きました。この乱の直接的な原因と、その後の社会の変化について述べた説明として最も適切なものはどれですか。（2026年 奈良県公立入試 類似）
1. 元の襲来（元寇）による恩賞の不満が武士の間で高まったことが原因となり、鎌倉幕府が滅亡して天皇による親政が始まった。
 2. 織田信長が足利義昭を追放したことが原因となり、室町幕府が滅亡し、近世に向けた城下町の整備が進められた。
 3. 室町幕府の8代将軍、足利義政の後継者争いや有力な守護大名の対立が原因となり、実力のある者が上の者を倒す「下剋上」の風潮が強まった。
 4. 南朝と北朝の二つの朝廷が対立したことが原因となり、足利義満がこれを統一することで、幕府による全国支配が完成した。
- 問6 室町時代に登場した、絵入りの物語本のことを何と呼ぶか。「浦島太郎」や「一寸法師」のように庶民を主人公とした物語が多く描かれ、当時の人々に広く親しまれたものを次の中から選びなさい。（2020年 千葉県公立入試 類似）
1. 軍記物語
 2. 御伽草子
 3. 人形浄瑠璃
 4. 浮世草子
- 問7 室町時代に行われた日明貿易（勘合貿易）において、2枚に分かれた札を照らし合わせて確認する「勘合」という証明書が導入された主な目的として、最も適切なものはどれですか。（2017年 富山県公立入試 類似）
1. 明の許可を得た正式な貿易船と、倭寇と呼ばれる海賊を区別するため
 2. 貿易船に積まれた貨物の量を記録し、明の皇帝へ報告するため
 3. 幕府が国内の有力な大名から通行税を徴収する証明とするため
 4. 明の商人が日本国内でキリスト教を布教するのを防ぐため
- 問8 室町時代後期の1467年に始まり、その後約11年間にわたって続いた「応仁の乱」が起きた背景や原因の説明として、最も適切なものはどれですか。（2021年 神奈川県公立入試 類似）
1. 平氏による政治の独占に不満を持った源頼朝が、東国の武士をまとめて全国的な内乱へと発展させた。
 2. 将軍の跡継ぎ問題に加え、細川氏や山名氏といった有力な守護大名の勢力争いが結びついた。
 3. 鎌倉幕府を倒した後の天皇中心の政治に対し、足利尊氏が武家政治の再興を求めて挙兵した。
 4. キリスト教の信仰を禁じる江戸幕府の政策や過酷な年貢の取り立てに対し、九州の領民が武装して蜂起した。
- 問9 琉球王国の王城である首里城の建築様式や歴史的背景に関する記述として、最も適切なものはどれですか。（2018年 群馬県公立入試 類似）
1. 完全な和風建築であり、室町幕府の守護大名が住む館と同じ構造で造られている。
 2. 平安時代の貴族の住居である寝殿造の影響を強く受け、左右対称の美しい庭園を持つ。
 3. 薩摩藩の武家屋敷としての機能を重視し、軍事的な防衛能力のみに特化している。
 4. 中国や日本などの影響を受けた独自の建築様式を持ち、国際交流の象徴となっている。
- 問10 室町幕府の政治体制における「管領」の説明として、その仕組みや特徴を正しく述べたものはどれか。（2018年 香川県公立入試 類似）
1. 徳川氏に忠誠を誓う譜代大名の中から選ばれ、複数の人数による合議制で重要事項を決定した。
 2. 足利氏の一門である有力な守護大名が交代で務め、将軍に次ぐ立場で実務機関を指揮した。
 3. 北条氏が独占的に世襲し、将軍の幼少期だけでなく成人後も政治の全権を握り続けた。
 4. 天皇を助けるために設置され、全国の武士を統制することで律令制度の復活を目指した。
- 問11 琉球王国の拠点であった首里城とその歴史的背景に関する記述として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。（2024年 群馬県公立入試 類似）
1. 明治時代の廃藩置県が行われるまで、一度も他国の干渉を受けることなく独立を維持し、独自の「琉球文字」のみを公用文に使用していた。
 2. 室町幕府の直接の支配下に置かれ、足利将軍家の別邸として首里城が築かれたことで、京の文化がそのまま沖縄全土に広まった。
 3. 中国の皇帝に貢物を贈る朝貢貿易を行いながら、17世紀初めからは日本の薩摩藩による支配も受けるという、独自の二重の支配体制の中にあった。
 4. 江戸幕府の鎖国政策の影響を強く受け、海外との貿易を完全に禁止したため、首里城は軍事拠点としての機能のみを重視して設計された。
- 問12 足利義政が京都の東山に築いた別荘（慈照寺）にある、二層構造の木造建築物と、その時代の文化の特色について述べた文として正しいものはどれですか。（2019年 新潟県公立入試 類似）
1. 禅宗の影響を受けた簡素で落ち着いた趣の建物である銀閣に代表され、わび・さびの精神を重んじる文化
 2. 足利義満が建てた、建物全体に金箔を貼った豪華な金閣に代表される、公家文化と武家文化が融合した文化
 3. 寝殿造の様式を取り入れ、貴族の優雅な生活を反映した平等院鳳凰堂に代表される、国風文化
 4. 唐の影響を強く受け、国際色豊かな宝物が納められた正倉院などに代表される、天平文化

答え合わせ・解説

問1	答え 3 明から陶磁器や銅銭を得て、それを東南アジアの香料や香木とともに日本などの周辺諸国へ転売していた。	琉球王国は明との活発な朝貢貿易を通して、陶磁器や銅銭などを入手しました。同時に東南アジアからは香木や香料などを輸入し、これらを日本をはじめとする周辺諸国へ転売する中継貿易を行いました。
問2	答え 1 馬借	鎌倉時代から室町時代にかけて、交通の要所に拠点を置き、馬を使って荷物を運んだ運送業者のことです。物資の流通が活発になったこの時代において、各地の市場や港を結ぶ重要な物流の担い手となりました。
問3	答え 2 公家や寺社に税を納めることで、他者の参入を防ぐ独占権や保護を得るため	中世の商業は、現代のような自由競争ではなく、有力な権力者による裏付けが必要でした。商人は「座」を構成し、税を納める見返りとして「本所」と呼ばれる公家や寺社から、その地域や商品における販売の独占を認められていました。これにより、安定した商売を行うことが可能となりました。後に織田信長らが「楽市・楽座」によってこの仕組みを廃止したことは、商業の自由化を象徴する出来事です。
問4	答え 4 室町時代と平安時代	勘合貿易を行い倭寇の取り締まりを行ったのは室町時代の幕府の役割である。一方、紫式部の執筆活動や国風文化の隆盛は、摂関政治が行われていた平安時代の文化的な特徴である。
問5	答え 3 室町幕府の8代将軍、足利義政の後継者争いや有力な守護大名の対立が原因となり、実力のある者が上の者を倒す「下剋上」の風潮が強まった。	応仁の乱は、8代将軍足利義政の跡継ぎ問題をきっかけに、細川氏（東軍）と山名氏（西軍）という有力な守護大名が二派に分かれて争ったことで長期化しました。この乱の結果、将軍や幕府の権威は大きく衰退し、各地で実力のある者が主君を倒して実権を握る「下剋上」の動きが加速し、戦国時代へと移行しました。
問6	答え 2 御伽草子	室町時代には、貴族や武士だけでなく、庶民の間にも文化が広がりました。この時期に流行した御伽草子は、挿絵が入った短い物語本であり、庶民の姿や願いが反映された内容が特徴です。江戸時代に井原西鶴らが手がけた浮世草子や、浄瑠璃の語りに合わせて人形を動かす人形浄瑠璃と混同しないよう時代背景を整理しておく必要があります。
問7	答え 1 明の許可を得た正式な貿易船と、倭寇と呼ばれる海賊を区別するため	当時、東シナ海などでは倭寇と呼ばれる海賊が活動しており、明との貿易を妨げる大きな要因となっていました。足利義満は明との国交を樹立する際、明から交付された「勘合」という札を用いる仕組みを導入しました。これにより、公式な外交・貿易の権利を持つ船か、あるいは略奪を行う倭寇であるかを厳密に判別できるようになり、貿易の安定と海賊の抑制を図りました。
問8	答え 2 将軍の跡継ぎ問題に加え、細川氏や山名氏といった有力な守護大名の勢力争いが結びついた。	応仁の乱は、室町幕府の8代将軍足利義政の後継者をめぐる争いに、幕府の要職を務める有力な守護大名たちの対立が加わって発生しました。この戦乱により、戦いの舞台となった京都は荒廃し、幕府の権威が失墜したことで、実力のある者が上の者を倒す「下剋上」の風潮が強まり、戦国時代へと向かう大きな転換点となりました。
問9	答え 4 中国や日本などの影響を受けた独自の建築様式を持ち、国際交流の象徴となっている。	琉球王国は中国と朝貢貿易を行い、同時に日本とも深い関わりを持っていたため、首里城の建築には両国の文化が融合した独自の様式が見られます。例えば、龍の装飾などは中国の影響を強く受けています。これは、当時の琉球が中継貿易の拠点として多様な文化を受け入れていた背景を反映しています。
問10	答え 2 足利氏の一門である有力な守護大名が交代で務め、将軍に次ぐ立場で実務機関を指揮した。	管領は、足利氏の有力な分家である細川・斯波・畠山の三家（三管領）が交代で務めることが慣例でした。室町幕府は有力な守護大名の連合政権という性格が強かったため、彼らの中から選ばれた管領が、侍所などの実務機関を統括しながら幕政の安定を図りました。これに対し、執権は鎌倉幕府、老中は江戸幕府の役職であり、それぞれの幕府によって権力の構成や選ばれる家柄が異なります。
問11	答え 3 中国の皇帝に貢物を贈る朝貢貿易を行いながら、17世紀初めからは日本の薩摩藩による支配も受けるという、独自の二重の支配体制の中にあった。	琉球王国は、地理的条件を活かした中継貿易で栄えました。1609年に薩摩藩（島津氏）の侵攻を受けて以降は、日本の支配下に入りつつも、中国（明・清）との朝貢関係も継続するという複雑な国際関係を維持しました。首里城には中国からの使者を迎えるための施設など、この二重の外交関係を象徴する構造が見られます。
問12	答え 1 禅宗の影響を受けた簡素で落ち着いた趣の建物である銀閣に代表され、わび・さびの精神を重んじる文化	足利義政によって築かれた東山文化は、室町時代の後半に発展しました。三代将軍義満の北山文化が豪華であったのに対し、東山文化は禅宗の精神を取り入れた「簡素さ」や「落ち着いた趣」を特徴としています。銀閣（慈照寺銀閣）はその代表例であり、一階部分は現在の和室の原型となる書院造の様式が見られ、武士や禅僧の生活様式が反映されています。

- 問1 室町時代に登場した、絵入りの物語本のことを何と呼ぶか。「浦島太郎」や「一寸法師」のように庶民を主人公とした物語が多く描かれ、当時の人々に広く親しまれたものを次の中から選びなさい。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
1. 軍記物語 2. 御伽草子 3. 浮世草子 4. 人形浄瑠璃
-
- 問2 室町時代の中世社会についてまとめられた学習年表において、村の自治が進んだ時期の空欄を埋める組織名を考えます。有力な農民を中心に結成され、「寄り合い」と呼ばれる会議を通じて村のルールを定め、共同体としてのまとまりを強めた自治組織の名称として正しいものはどれですか。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)
1. 惣 2. 五人組 3. 株仲間 4. 座
-
- 問3 「二条河原の落書」には、当時の京都で「繪旨（りんじ）」が乱発され、社会が混乱している様子が記されています。この「繪旨」とはどのようなものですか。その性質として正しい説明を選びなさい。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
1. 鎌倉幕府の執権が武士の土地裁判のために定めた法律 2. 室町幕府が借金を帳消しにするために出した法令 3. 平氏が貴族の反乱を抑えるために出した軍事的な指令 4. 後醍醐天皇が自らの意向を直接伝えるために出した命令書
-
- 問4 室町時代の交通網において、琵琶湖沿岸の坂本や大津が物流の要所として発展した理由について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 石川県公立入試 類似)
1. 瀬戸内海から運ばれてきた西国の特産品を、北陸地方へ送るための唯一の輸出港だったから 2. 海外貿易の拠点として、明（中国）から届いた貨幣や商品を西日本の各地へ卸す場所だったから 3. 室町幕府が日本海側の年貢を直接管理するために、巨大な倉庫群である蔵屋敷を設置したから 4. 日本海側から届いた物資を、水運から陸運へ切り替えて京都へ運ぶための中継地点だったから
-
- 問5 室町時代、農村では農民たちが自衛や用水の管理、年貢の納入などを共同で行うために団結し、自ら村を運営する組織がつくられました。このような自治的な村の組織を何と呼びますか。 (2015年 山口県公立入試 類似)
1. 座 2. 株仲間 3. 五人組 4. 惣
-
- 問6 室町時代の文化において、雪舟によって日本独自の水墨画が確立されるに至った背景として、最も適切な説明はどれか答えなさい。 (2021年 高知県公立入試 類似)
1. 遣唐使の廃止によって国風文化が発達し、日本独自の色彩豊かな絵画様式が求められたこと 2. 幕府による勘合貿易を通じて禅僧が明に渡り、現地の高度な芸術技法を直接学ぶ環境があったこと 3. 江戸幕府の文教政策によって、町人の間でも手軽に楽しめる多色刷りの版画が流行したこと 4. 南蛮貿易によってヨーロッパの油彩画の技術が伝わり、遠近法を用いた写実的な表現が広まったこと
-
- 問7 北海道上ノ国町にある勝山館跡は、1457年に起きたアイヌの人々と和人の戦いの後に、和人側の拠点として築かれました。この戦いの指導者と時代背景について述べたものとして正しいものはどれですか。 (2021年 北海道公立入試 類似)
1. コシヤミンが指導者となり、室町時代に和人と戦った 2. アテルイが指導者となり、平安時代に朝廷軍と戦った 3. シャクシャインが指導者となり、江戸時代に和人と戦った 4. コシヤミンが指導者となり、明治時代に開拓使と戦った
-
- 問8 室町時代の外交において、三代将軍の足利義満が明の皇帝に対してとった外交姿勢とその後の貿易の形式について述べた文として、正しいものはどれか選びなさい。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)
1. 元寇による対立関係を解消するため、大量の銀を無償で献上する形式をとった 2. 貿易の利益を独占するため、明の皇帝からの日本国王という称号を拒絶した 3. 明の皇帝に対して臣下の礼をとり、朝貢という形式で貿易を行う道を選んだ 4. 対等な立場での国交を求め、書状の中で「日出づる処の天子」と名乗った
-
- 問9 室町時代、足利義政が京都の東山に慈照寺銀閣を建てた時期に栄えた文化について述べた文として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。 (2025年 福岡県公立入試 類似)
1. 唐の文化の影響を脱し、日本の風土や生活に合わせた寝殿造などの国風文化が発達した。 2. 足利義満が金閣を建てた時期の文化で、公家文化と武家文化が融合した華やかな特色を持つ。 3. 禅宗の影響を強く受け、書院造や水墨画などが発達し、質素で深みのある美意識が重んじられた。 4. 町衆の経済力を背景に、浮世絵や人形浄瑠璃といった庶民的な文化が江戸を中心に開花した。
-
- 問10 鎌倉時代から室町時代にかけて、農村では有力な農民を中心に「惣（惣村）」と呼ばれる自律的な組織が形成されました。この組織の運営や特徴として、背景を含めて正しく説明しているものはどれですか。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)
1. 幕府によって設置され、年貢の納入を確実にするために近隣の農家に連帯責任を負わせた。 2. 備中鍬や千歯扱などの農具を共同で購入し、大規模な新田開発を全国で主導した。 3. 領主から派遣された役人が中心となり、村の境界争いや犯罪をすべて幕府の法律に基づいて裁いた。 4. 寄合（よりあい）を開いて村独自の掟を定め、灌漑用水の管理や警察・裁判などの機能を自ら担った。
-
- 問11 奈良市柳生にある石碑には、1428年の正長の土一揆に際して、徳政が行われた事実を後世に伝える文章が刻まれています。この石碑が象徴している、当時の民衆の要求や行動の目的として最も適切なものはどれですか。 (2026年 福岡県公立入試 類似)
1. 信仰を共にする門徒たちが、守護大名の支配を排除して自治を行うこと 2. 商業の利権を独占するため、有力な寺社や公家に税を納めること 3. 借金の支払いを免除するよう、幕府や高利貸しに強硬に迫ること 4. 領主の交代を求めて、特定の村落が他の地域と協力して武力行使すること
-
- 問12 院政期から室町時代の終わり頃にかけての「中世」と呼ばれる時代区分に関する説明として、当時の政治や社会の仕組みを正しく述べているものはどれですか。 (2017年 鳥取県公立入試 類似)
1. 天皇が唐の制度を模範とした律令に基づいて全国を直接支配した 2. 執権や将軍を中心とした武士が政治の実権を握り、土地を媒介とした主従関係が築かれた 3. 戦国時代を勝ち抜いた大名が検地や刀狩を行い、兵農分離を徹底させた 4. 明治維新によって天皇中心の政治に戻り、文明開化が進められた
-
- 問13 室町時代、有力な農民たちが中心となって結成し、村の掟の制定や用水の管理などを自律的に行った自治組織を何といいますか。 (2022年 徳島県公立入試 類似)
1. 惣 2. 座 3. 株仲間 4. 五人組

答え合わせ・解説

問1	答え 2 御伽草子	室町時代には、貴族や武士だけでなく、庶民の間にも文化が広がりました。この時期に流行した御伽草子は、挿絵が入った短い物語本であり、庶民の姿や願いが反映された内容が特徴です。江戸時代に井原西鶴らが手がけた浮世草子や、浄瑠璃の語りに合わせて人形を動かす人形浄瑠璃と混同しないよう時代背景を整理しておく必要があります。
問2	答え 1 惣	室町時代になると、農民たちは生産力の向上や自衛の必要性から結束を強め、「惣（惣村）」と呼ばれる自律的な村落組織を形成しました。この組織では、有力な農民たちが「寄り合い」という会議を開き、村独自の掟（村法）を定めたり、用水路や入会地（山林）の管理を行ったりするなどの自治を行いました。選択肢にある「座」は商工業者の組合、「五人組」は江戸時代の連帯責任制度、「株仲間」は江戸時代の中期以降に公認された商人の組合です。
問3	答え 4 後醍醐天皇が自らの意向を直接伝えるために出した命令書	建武の新政において、後醍醐天皇はそれまでの先例や慣習を否定し、すべての物事を天皇の直接の意志である「綸旨」によって決定しようとしてしました。しかし、土地の所有権などをめぐって内容の矛盾する綸旨が次々と出されたことが、武士たちの大きな混乱と反感を買う原因となりました。
問4	答え 4 日本海側から届いた物資を、水運から陸運へ切り替えて京都へ運ぶための中継地点だったから	室町時代の日本海側（北陸など）からの物資は、一度陸路で琵琶湖北岸へ運ばれ、そこから船で湖を縦断して大津や坂本に到着しました。大津・坂本は京都に極めて近く、ここで船から降ろされた荷物が馬借の手によって京都へ運ばれたため、水運と陸運をつなぐ「中継地」として重要な役割を果たしました。蔵屋敷は主に江戸時代の制度であり、また琵琶湖は瀬戸内海のルートとは直接関係ありません。
問5	答え 4 惣	室町時代に有力な農民（地侍）を中心に結成された農村の自治組織を「惣（または惣村）」と呼びます。それまでの荘園領主による一方的な支配に対し、村人たちが団結して用水の管理や警察権の行使、入会地（共有地）の管理などを自律的に行うようになりました。選択肢にある「座」は商工業者の同業者団体、「株仲間」は江戸時代の商業組織、「五人組」は江戸時代の年貢納入などの連帯責任制度を指します。
問6	答え 2 幕府による勘合貿易を通じて禅僧が明に渡り、現地の高度な芸術技法を直接学ぶ環境があったこと	室町時代に水墨画が発展した大きな要因は、足利義満が始めた勘合貿易（日明貿易）です。この貿易船には多くの禅僧が同行しており、彼らが中国の明で最新の文化や絵画技法を学び取ってきたことが、雪舟による日本的な水墨画の完成に繋がりました。他の選択肢は平安時代（国風文化）、安土桃山時代（南蛮文化）、江戸時代（元禄・化政文化）の内容であるため誤ります。
問7	答え 1 コシャマインが指導者となり、室町時代に和人と戦った	1457年に起きた「コシャマインの戦い」は、室町時代の出来事です。これに対し、シャクシャインの戦いは1669年（江戸時代）、アテルイの抵抗は8世紀末から9世紀初め（平安時代）の出来事であり、それぞれ時期や背景が異なります。勝山館はこの戦いの反省から、和人側の統治・防衛拠点として整備されました。
問8	答え 3 明の皇帝に対して臣下の礼をとり、朝貢という形式で貿易を行う道を選んだ	足利義満は、巨大な帝国である明との貿易から得られる利益を幕府の財政基盤とするため、プライドよりも実利を優先しました。彼は明の皇帝に対して家臣としての立場（日本国王）を認め、貢ぎ物を送る「朝貢」という形式をとることで、公式な国際関係を築きました。
問9	答え 3 禅宗の影響を強く受け、書院造や水墨画などが発達し、質素で深みのある美意識が重んじられた。	足利義政の時代に栄えた東山文化は、前の時代の華やかな北山文化とは対照的に、禅宗の精神に基づいた「わび・さび」といった質素な美しさを追求しました。この文化の中で確立された書院造や水墨画、茶の湯などは、現代に続く日本的な生活様式や美意識の大きな源流となっています。
問10	答え 4 寄合（よりあい）を開いて村独自の掟を定め、灌漑用水の管理や警察・裁判などの機能を自ら担った。	室町時代になると、農民たちは自衛や水の管理などのために結束を強め、「惣」と呼ばれる自治的な村を形成しました。村の重要な意思決定は「寄合」という会議で行われ、村独自のルールである「惣掟（そうおきて）」に従って自立的な運営がなされました。幕府による連帯責任（五人組）や、備中鋤を用いた大規模な新田開発は江戸時代以降の特徴であるため、中世の社会構造とは異なります。
問11	答え 3 借金の支払いを免除するよう、幕府や高利貸しに強硬に迫ること	奈良県の「柳生徳政碑文」には、徳政によって借金がなくなった事実が刻まれており、当時の民衆が実力行使によって「徳政（借金の帳消し）」を勝ち取ったことを証明する貴重な資料です。土一揆は単なる暴動ではなく、借金で生活が立ち行かなくなった人々が生きるために起こした団結行動でした。
問12	答え 2 執権や将軍を中心とした武士が政治の実権を握り、土地を媒介とした主従関係が築かれた	中世は、平安時代末期の院政期に始まり、鎌倉幕府の成立や室町幕府の展開を経て、武士が政治の主導権を握った時代です。土地の支配をめぐって将軍と御家人の間で「御恩と奉公」という主従関係が結ばれたことが大きな特徴です。他の選択肢については、古代（律令政治）、近世（兵農分離）、近代（明治維新）の説明となっています。
問13	答え 1 惣	室町時代の村落では、農民が自立性を高め、有力な農民を中心に「惣（惣村）」と呼ばれる自治組織が作られました。惣では「寄合」という会議が開かれ、村独自のルールである「掟」を定めたり、共同作業の調整を行ったりしました。選択肢にある「座」は中世の商工業者の同業者組合、「五人組」は江戸時代の連帯責任制度、「株仲間」は江戸時代の特権的な商人の組合を指します。

- 問1 1457年、現在の北海道ノ国町周辺において、進出してきた和人に対してアイヌの人々が蜂起しました。この戦いでアイヌの人々を率いた指導者は誰ですか。 (2021年 北海道公立入試 類似)
1. アテルイ 2. 坂上田村麻呂 3. シャクシャイン 4. コシャマイン
- 問2 足利義満が京都の北山に「金閣」を建立した歴史的背景について説明したものとして、最も適切なものはどれか次の中から選びなさい。 (2022年 岡山県公立入試 類似)
1. 元軍による二度の侵攻を退けたものの、十分な恩賞を与えられなかった武士たちの不満が全国に広がっていた。 2. 応仁の乱によって幕府の権威が失墜したため、将軍の権力を立て直そうと豪華な文化を奨励していた。 3. 南北朝の合一によって政治的な混乱を収束させ、公家と武家の双方の権限を掌握して幕府の全盛期を築いていた。 4. 後醍醐天皇による建武の新政への反発から、新しい天皇を擁立して幕府を開いた直後の混乱期にあった。
- 問3 15世紀初頭から始まった室町幕府による日明貿易（勘合貿易）について、幕府の権威が衰退した戦国時代に入ると、貿易の実権は有力な守護大名へと移り変わりました。この貿易の実権をめぐる激しく争い、拠点の港である博多や堺の商人と結びついて活動した二つの有力な守護大名の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2022年 鳥取県公立入試 類似)
1. 武田氏と今川氏 2. 島津氏と毛利氏 3. 大内氏と細川氏 4. 北条氏と上杉氏
- 問4 室町幕府の第3代将軍である足利義満が、朝貢という形で明との貿易（日明貿易）を行い、そこで得た豊かな経済力を背景に保護・奨励した出来事として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 岩手県公立入試 類似)
1. 出雲の阿国という女性を保護し、歌舞伎の原型を作らせた 2. 雪舟を明へ渡航させ、水墨画の技法を学ばせた 3. 千利休に茶室を造らせ、わび茶を完成させた 4. 観阿弥・世阿弥の親子を重用し、能を大成させた
- 問5 室町時代に展開された文化の大きな特徴は、京都の伝統的な公家文化と、新興の武士による武家文化が結びついた点にあります。このような文化の成り立ちを説明した表現として、最も適切なものはどれか。 (2020年 福岡県公立入試 類似)
1. 武家が公家を完全に排除し、軍事的な実用性のみを追求した。 2. 伝統的な公家文化と台頭する武家文化が融合し、独自の発展を遂げた。 3. 江戸の町人を中心に、欧米の思想や生活様式を積極的に取り入れた。 4. 大陸との交流を絶ち、地方の農民による素朴な文化が中心となった。
- 問6 室町時代に足利義満が明（中国）との間で始めた貿易では、「勘合」と呼ばれる札が使用されました。このように、わざわざ特別な札を照らし合わせる仕組みを取り入れた本来の目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 静岡県公立入試 類似)
1. 正式な貿易船と、倭寇と呼ばれる海賊による船を明確に区別するため 2. 明からの輸入品である鉄砲や火薬に高い関税をかけるため 3. 日本国内の商人が勝手に海外へ銀を輸出することを禁止するため 4. キリスト教の宣教師が日本へ密入国するのを厳重に監視するため
- 問7 室町幕府が勘合（勘合符）を用いてまで、明との貿易を管理・継続した経済的な目的として、貿易品の特徴から推察される理由を次の中から選びなさい。 (2021年 京都府公立入試 類似)
1. 国内の銅や硫黄の生産量が過剰になり、それらを処分するために明を唯一の廃棄先として利用していたから。 2. 国内で貨幣を鋳造する技術や体制が整っていなかったため、明から輸入した銅銭を国内に流通させる必要があったから。 3. 明から輸入される綿織物が国内の武士の軍服として不可欠であり、幕府がその流通を独占して権威を高めるため。 4. 明の皇帝から贈られる生糸や陶磁器をすべて寺社に寄進し、宗教勢力を幕府の支配下に置くための手段としていたから。
- 問8 室町時代に商工業者が「座」を形成し、特定の公家や寺社といった権力者と結びついて活動していた主な目的は何ですか。その背景として適切なものを選びなさい。 (2019年 香川県公立入試 類似)
1. 幕府から直接的な支配を受けないよう、朝廷の権威を利用して海外貿易を推進するため 2. 特定の商品の販売を独占し、他者の参入を防ぐとともに、活動の安全を保障してもらうため 3. 農村での生産力を高めるために、全国各地に定期市を開設して物資の流通を統一するため 4. 問屋が中心となって手工業者に道具や原料を貸し、製品を安く買い叩く仕組みを作るため
- 問9 鎌倉時代から室町時代にかけて、交通の要所に集まり、馬の背に荷物を載せて物資の運送を専門に行った業者を何と呼びますか。当時の生活の様子を描いた絵巻物などでは、大きな荷を積んだ馬を引いて歩く人々の姿として表現されています。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)
1. 座の商人 2. 飛脚 3. 問丸 4. 馬借
- 問10 日本の中世（鎌倉時代・室町時代）において、馬を利用して荷物を運送し、物資の流通に重要な役割を果たした業者を何と呼びますか。 (2022年 茨城県公立入試 類似)
1. 酒屋 2. 馬借 3. 問丸 4. 土倉
- 問11 室町時代に足利義満が明（中国）との間で始めた貿易では、「勘合」と呼ばれる割符が使用されました。このような仕組みが導入された背景にある、当時の東アジア情勢として最も適切な説明はどれですか。 (2020年 福島県公立入試 類似)
1. 平清盛が推進した日宋貿易の形式を継承し、大量の銅銭を効率よく輸入するため 2. 沿岸部で海賊行為を行っていた倭寇と、正式な貿易船を区別する必要があったため 3. キリスト教の布教を防ぎながら、幕府が海外貿易の利益を独占しようとしたため 4. 朱印状を持つ商人にのみ渡航を許可し、東南アジア諸国との取引を管理するため
- 問12 15世紀の琉球王国において制作された「万国津梁の鐘」の銘文には、琉球が「三韓（朝鮮）」の優れた文化を集め、二つの大国の間に位置する「蓬萊島（理想郷）」であると記されています。この銘文の中で、琉球がその中間に位置し、密接に交流していると述べられている二つの国の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 山梨県公立入試 類似)
1. 中国と日本 2. イギリスと朝鮮 3. アメリカと日本 4. オランダと中国
- 問13 14世紀、後醍醐天皇による建武の新政が崩壊した後、約60年にわたり二つの朝廷が並立する南北朝の動乱が起こりました。この動乱が始まった経緯の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 埼玉県公立入試 類似)
1. 源頼朝が平氏を倒した後立てた京都の朝廷と、後鳥羽上皇が平泉で開いた朝廷が対立した。 2. 後醍醐天皇が堺を拠点に新しい政治を始めたことに反発し、足利尊氏が京都で別の朝廷を組織した。 3. 足利尊氏が京都に光厳天皇を立てたのに対し、京都を逃れた後醍醐天皇が奈良の吉野で別の朝廷を開いた。 4. 足利尊氏が鎌倉に新しい天皇を立てたのに対し、後醍醐天皇は京都の朝廷を維持して対抗した。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 コシャマイン	15世紀の室町時代、渡島半島（北海道南部）に進出した和人と、先住民であるアイヌの人々の間で対立が深まりました。1457年にアイヌの首長であったコシャマインを中心に大規模な戦いが起こり、多くの和人の拠点が落とされましたが、最終的には和人側によって鎮圧されました。
問2	答え 3 南北朝の合一によって政治的な混乱を収束させ、公家と武家の双方の権限を掌握して幕府の全盛期を築いていた。	金閣が建てられた時期は、義満が長年の課題であった南北朝の対立を終わらせ、幕府の権力が最高潮に達していた時期にあたります。金閣の建築様式に、公家の寝殿造と武家の禅宗様を取り入れられていることは、彼が公武両方の頂点に立っていた政治状況を反映しています。他の選択肢は、幕府成立期（尊氏）、幕府衰退期（義政以降）、あるいは鎌倉時代の出来事です。
問3	答え 3 大内氏と細川氏	室町時代の日明貿易は、足利義満によって明への朝貢形式で開始されましたが、応仁の乱以降は幕府の統制力が弱まり、経済的な利益を求めて有力な守護大名が台頭しました。具体的には、博多を拠点とする大内氏と、堺を拠点とする細川氏が貿易の利権をめぐって激しく対立しました。1523年には明の寧波（ニンポー）で両氏の衝突事件が起きるなど、貿易の主導権が幕府から地方勢力へ完全に移行したことがこの時代の特徴です。
問4	答え 4 観阿弥・世阿弥の親子を重用し、能を大成させた	足利義満は日明貿易（勘合貿易）を独占することで莫大な富を築き、その財力を背景に北山文化と呼ばれる華やかな文化を支えました。義満は観阿弥・世阿弥という優れた才能を持つ親子を保護し、伝統芸能である能を完成させる大きな役割を果たしました。出雲の阿国や千利休は、時代が異なる（安土桃山時代など）人物です。
問5	答え 2 伝統的な公家文化と台頭する武家文化が融合し、独自の発展を遂げた。	室町時代は幕府が京都に置かれたことで、足利将軍家をはじめとする武士が、京都の貴族（公家）が持つ教養や伝統に触れる機会が増えました。これにより、武家らしい力強さと公家らしい優雅さが混じり合った文化が形成されました。三代将軍義満の北山文化や、八代将軍義政の東山文化がその代表例です。
問6	答え 1 正式な貿易船と、倭寇と呼ばれる海賊による船を明確に区別するため	当時の東アジア沿岸部では、倭寇と呼ばれる海賊集団による略奪行為が深刻な問題となっていました。明の皇帝から倭寇の取り締まりを求められた足利義満は、明との正式な国交を樹立したうえで、半分に割った「勘合」という札を互いに照らし合わせる方法を採用しました。これにより、正規の貿易船であることを証明し、密貿易や海賊行為を防ごうとしたのがこの貿易の大きな特徴です。
問7	答え 2 国内で貨幣を鋳造する技術や体制が整っていなかったため、明から輸入した銅銭を国内に流通させる必要があったから。	日明貿易の大きな特徴の一つは、日本が「銅銭」を大量に輸入していた点にあります。当時の日本国内では、平安時代末期から続く貨幣経済の進展に対し、自前で信頼性の高い貨幣を鋳造する体制が不十分でした。そのため、幕府は明との貿易を通じて得た銅銭を国内の決済手段として活用し、経済の安定と拡大を図りました。これが、倭寇（海賊）と区別するための勘合を用いてまで貿易を独占・管理した重要な経済的動機です。
問8	答え 2 特定の商品の販売を独占し、他者の参入を防ぐとともに、活動の安全を保障してもらうため	中世の商業環境は、現代のように法律で営業の自由が保障されていたわけではありません。そのため、商工業者は強力な権威を持つ公家や寺社の傘下に入ることで、他者の介入を排除して利益を独占し、不当な課税や物理的な妨害から身を守る必要がありました。このように権力者に依存して特権を得るのが「座」の仕組みです。
問9	答え 4 馬借	中世の日本において、馬を利用して物資を運搬することを職業とした人々を馬借と呼びます。彼らは港（津）や関所、宿場といった交通の要点に拠点を置き、陸上交通における流通の主役として活動しました。なお、問丸は港湾での物資保管や中継を行う業者であり、飛脚は主に江戸時代に発達した通信制度を指します。
問10	答え 2 馬借	鎌倉時代から室町時代にかけて、交通の要所に拠点を置き、馬を使って荷物を運んだ運送業者のことです。物資の流通が活発になったこの時代において、各地の市場や港を結ぶ重要な物流の担い手となりました。
問11	答え 2 沿岸部で海賊行為を行っていた倭寇と、正式な貿易船を区別する必要があったため	室町時代の初期、朝鮮半島や中国沿岸では「倭寇」と呼ばれる海賊集団が活動し、略奪行為を行っていました。明の皇帝は日本に対して倭寇の取り締まりを強く要求しました。これに応じた足利義満は、明との正式な貿易を行う際、中央に文字を書いて二分割した「勘合」という証明書を持参させ、明側の所持するものと照合させることで、正式な使節と海賊を厳別する仕組みを整えました。
問12	答え 1 中国と日本	琉球王国は地理的に東アジアのほぼ中心に位置しており、その利点を最大限に活用していました。万国津梁の鐘に刻まれた「万国津梁」という言葉には「世界の架け橋」という意味があり、当時の中国（明）や日本、朝鮮、東南アジア諸国を結ぶ中継貿易の拠点として繁栄した歴史的背景を象徴しています。
問13	答え 3 足利尊氏が京都に光厳天皇を立てたのに対し、京都を逃れた後醍醐天皇が奈良の吉野で別の朝廷を開いた。	鎌倉幕府を滅ぼした後醍醐天皇は、天皇中心の政治である「建武の新政」を行いましたが、武士の支持を得られず失敗に終わりました。武士の不満を背景に挙兵した足利尊氏は、京都を占領して光厳天皇を擁立し、北朝としました。一方、京都を逃れた後醍醐天皇は、奈良の吉野に逃れて独自の朝廷（南朝）を開きました。これにより、三代将軍の足利義満が南北朝を合一するまで、全国の武士が二つの勢力に分かれて戦う時代が続きました。

問1 室町時代の文化において、雪舟によって日本独自の水墨画が確立されるに至った背景として、最も適切な説明はどれか答えなさい。 (2021年

高知県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 幕府による勘合貿易を通じて禅僧が明に渡り、現地の高度な芸術技法を直接学ぶ環境があったこと | 2. 江戸幕府の文教政策によって、町人の間でも手軽に楽しめる多色刷りの版画が流行したこと | 3. 遣唐使の廃止によって国風文化が発達し、日本独自の色彩豊かな絵画様式が求められたこと | 4. 南蛮貿易によってヨーロッパの油彩画の技術が伝わり、遠近法を用いた写実的な表現が広まったこと |
|---|--|--|--|

問2 14世紀末から15世紀にかけて、室町幕府の将軍である足利義満は中国の王朝である明と正式な国交を樹立しました。この貿易において、明側が「勘合」と呼ばれる証票の使用を日本側に求めた主な理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2017年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------------|---|--|-----------------------------------|
| 1. 日本国内で産出される銀の総量を把握し、明への輸出を義務付けるため | 2. 日本に派遣される明の使節が、幕府から十分なもてなしを受ける権利を証明するため | 3. 正式な貿易船と、東アジアの沿岸部で活動していた海賊である倭寇を区別するため | 4. キリスト教の布教を目的とする宣教師の入国を厳格に制限するため |
|-------------------------------------|---|--|-----------------------------------|

問3 京都の祇園祭が、中世から現代まで続く伝統的な行事として維持されてきた背景について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 岐阜県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 江戸時代に入ってから、徳川将軍家が京都の町衆の力を抑えるために、幕府主導の行事として祭礼の内容を一新させた。 | 2. 応仁の乱の後、幕府の統治能力が低下した京都で、町衆と呼ばれた商工業者らが自治組織を作って祭礼の運営を主導した。 | 3. 鎌倉時代に幕府が京都に六波羅探題を置いたことで、武士が商工業者を厳しく統制し、計画的に大規模な祭礼を挙行させた。 | 4. 足利義政が銀閣を建立した東山文化の時期に、幕府が資金をすべて負担することで、公家や僧侶のための行事として再興された。 |
|---|--|---|---|

問4 室町時代には、農業技術の進歩によって農業生産力が大きく向上しました。その要因として、灌漑技術の向上や肥料の使用拡大とともに全国へ普及した、同じ耕地で一年の間に二種類の異なる作物（主に夏に米、冬に麦など）を栽培する農業方法を何といいますか。 (2022年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|-------|--------|-------|
| 1. 三毛作 | 2. 輪作 | 3. 二毛作 | 4. 単作 |
|--------|-------|--------|-------|

問5 室町時代に栄えた文化について、墨の濃淡のみを用いて風景などを描く芸術を確立した人物と、親子で「能」を大成した人物の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2025年 埼玉県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------------------|---------------------------|------------------------------|--------------------------------|
| 1. 水墨画を確立した雪舟と、能を大成した観阿弥・世阿弥 | 2. 浮世絵を確立した菱川師宣と、能を大成した雪舟 | 3. 水墨画を確立した観阿弥・世阿弥と、能を大成した雪舟 | 4. 歌舞伎を確立した菱川師宣と、能を大成した観阿弥・世阿弥 |
|------------------------------|---------------------------|------------------------------|--------------------------------|

問6 室町時代の「惣」の仕組みや背景について、当時の社会情勢を踏まえて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2016年 奈良県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 農民たちが寄合を開いて村の掟を定め、団結して領主への直訴や士一揆を行うこともあった | 2. 仏教の布教を目的とした宗教的な集まりであり、農業経営や村の政治に関わることはなかった | 3. 特定の特権を持つ商人たちが結成した同業者組織であり、市場での独占販売権を行使した | 4. 室町幕府が農民を支配するために組織した行政機関であり、役人である武士が運営を主導した |
|--|---|---|---|

問7 足利義満が明と貿易を行うにあたり、明の皇帝に対して取った外交上の立場や形式について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2019年 大阪府公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 幕府の役人ではなく、有力な寺院の僧侶に全権を委任した民間貿易の形式をとった | 2. 聖徳太子の時代のように、中国の皇帝と距離を置いた独立独歩の立場を強調した | 3. 「日本国王」の称号を受け、明の皇帝に貢ぎ物を届ける朝貢の形式をとった | 4. 「征夷大將軍」の称号のまま、明の皇帝と対等な立場での国交を求めた |
|--|---|---------------------------------------|-------------------------------------|

問8 室町幕府が、京都に拠点を置く金融業者である土倉や、酒の醸造を行っていた酒屋に対して「倉役」や「酒屋役」といった税を課した理由と、その背景に関する説明として最も適切なものはどれですか。 (2020年 山口県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 地方の有力な農村組織である「惣」が幕府に反抗したため、軍事費を捻出するために臨時の課税を行った。 | 2. 幕府の直轄領からの収入が不十分であったため、都市部の豊かな業者に特権を与える代わりに安定した税収を得ようとした。 | 3. 幕府が土倉や酒屋を廃止して、すべての金融業務を公的な役所で行うための準備資金が必要だった。 | 4. 幕府が貨幣の使用を禁止し、物々交換の経済へ戻すための資金を確保しようとした。 |
|---|---|--|---|

問9 日本の伝統的な「浦島伝説」が記されている古典作品について、奈良時代にまとめられた日本最古の和歌集と、室町時代に成立した絵入りの短編物語の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------|---------------|-------------|-------------|
| 1. 新古今和歌集と御伽草子 | 2. 古今和歌集と浮世草子 | 3. 万葉集と御伽草子 | 4. 万葉集と浮世草子 |
|----------------|---------------|-------------|-------------|

問10 室町時代に発達した、墨一色の濃淡で自然の風景などを表現する絵画の技法と、その技法を用いて「秋冬山水図」などの作品を残し、日本の芸術に大きな影響を与えた人物の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2015年 長崎県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------|-----------------|--------------|-------------|
| 1. 唐三彩 - 鑑真 | 2. 浮世絵 - 近松門左衛門 | 3. 大和絵 - 紀貫之 | 4. 水墨画 - 雪舟 |
|-------------|-----------------|--------------|-------------|

問11 室町時代、馬借や農民らが酒屋や土倉を襲撃し、借金の証文を破り捨てるなどの実力行使を伴う一揆が発生しました。こうした一揆の要求を受け、幕府が借金の帳消しを命じるために出した法令を何といいますか。 (2018年 三重県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|--------|--------|-----------|
| 1. 武家諸法度 | 2. 徳政令 | 3. 分国法 | 4. 公事方御定書 |
|----------|--------|--------|-----------|

問12 後醍醐天皇による建武の新政に反旗を翻し、1338年に光明天皇から征夷大將軍に任命されて、京都に武家政権である室町幕府を開いた人物は誰ですか。 (2018年 秋田県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| 1. 源頼朝 | 2. 足利尊氏 | 3. 足利義満 | 4. 足利義政 |
|--------|---------|---------|---------|

問13 室町時代の農村社会において、村の自治組織である惣（惣村）が行っていた主な活動として、最も適当なものを次のうちから1つ選びなさい。 (2025年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|-------------------------------------|--|
| 1. 幕府の命令により、年貢の納入や犯罪防止について村全体で連帯責任を負わされた。 | 2. 村の話し合いである寄合を開き、用水の管理や治安維持などを自主的に行った。 | 3. 幕府から営業の独占権を得る代わりに税を納め、商売の権利を守った。 | 4. 同業者の組合を結成し、商品の販売ルートや価格を協定して利益を確保した。 |
|---|---|-------------------------------------|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 幕府による勘合貿易を通じて禅僧が明に渡り、現地の高度な芸術技法を直接学ぶ環境があったこと	室町時代に水墨画が発展した大きな要因は、足利義満が始めた勘合貿易（日明貿易）です。この貿易船には多くの禅僧が同行しており、彼らが中国の明で最新の文化や絵画技法を学び取ってきたことが、雪舟による日本的な水墨画の完成に繋がりました。他の選択肢は平安時代（国風文化）、安土桃山時代（南蛮文化）、江戸時代（元禄・化政文化）の内容であるため誤りです。
問2	答え 3 正式な貿易船と、東アジアの沿岸部で活動していた海賊である倭寇を区別するため	足利義満は明の皇帝から「日本国王」として認められる形で冊封体制に入り、正式な朝貢貿易を開始しました。当時、東アジアの沿岸部では倭寇と呼ばれる海賊集団が活動して私的な密貿易や略奪を行っており、明はこれらを排除するために、半分に割った「勘合」を照らし合わせることで正式な貿易船であることを証明する仕組みを導入しました。
問3	答え 2 応仁の乱の後、幕府の統治能力が低下した京都で、町衆と呼ばれた商工業者らが自治組織を作って祭礼の運営を主導した。	1467年に始まった応仁の乱により京都は焦土と化しましたが、幕府には都市を復興させる十分な力が残っていませんでした。これに対し、京都の商工業者である町衆は、自らの手で街を守り、運営する「自治」の仕組みを築きました。祇園祭の復興はその自治の象徴であり、自分たちの文化を維持しようとする町衆の強い意志と経済力によって支えられました。他の選択肢にある武士や幕府主導による復興という説明は誤りです。
問4	答え 3 二毛作	鎌倉時代に西日本で始まったとされる二毛作は、室町時代に入ると水車の普及による灌漑技術の向上や、草木灰・下肥といった肥料の利用拡大、牛馬による耕作の普及を背景に、全国へと広がりました。これにより一年の間の土地利用効率が劇的に高まり、食料の生産量増加に直結しました。
問5	答え 1 水墨画を確立した雪舟と、能を大成した観阿弥・世阿弥	室町時代には、足利義満や義政の時代を中心に、武士の文化と公家の文化が融合した独自の文化が発展しました。雪舟は明（中国）に渡って絵画の技法を学び、墨の濃淡で表現する水墨画を日本独自の芸術として確立しました。また、猿楽などの伝統的な芸能をもとに、観阿弥・世阿弥の親子が「能」として芸術性の高い舞台芸能に仕上げました。菱川師宣や歌舞伎は江戸時代の文化に該当するため、混同しないよう注意が必要です。
問6	答え 1 農民たちが寄合を開いて村の掟を定め、団結して領主への直訴や土一揆を行うこともあった	「惣」は農民による自治組織であり、村の重要な事項は「寄合（よりあい）」という会議で決定されました。この団結力は単なる村の管理に留まらず、過重な年貢に苦しみ際には、領主に対して減免を求めたり、借金の帳消しを求める「土一揆（つちいっき）」へと発展したりすることもあり、当時の社会において大きな影響力を持ちました。
問7	答え 3 「日本国王」の称号を受け、明の皇帝に貢ぎ物を届ける朝貢の形式をとった	足利義満は経済的な実利を得ることを優先し、明を中心とした国際秩序に従う形をとりました。明の皇帝から「日本国王」として認められる（冊封を受ける）ことで、臣下として貢ぎ物を捧げる「朝貢（ちょうこう）」という形式で貿易が行われました。これにより、室町幕府は莫大な富を得ることになりました。
問8	答え 2 幕府の直轄領からの収入が不十分であったため、都市部の豊かな業者に特権を与える代わりに安定した税収を得ようとした。	室町幕府は直轄領（御料所）が少なかったため、財政を支えるために京都などの都市部で経済力を持っていた土倉（金融業者）や酒屋に注目しました。幕府は彼らに独占的な営業権などの特権を認める見返りとして、倉役や酒屋役と呼ばれる税を課し、重要な財源としました。このように、幕府が特定の商工業者と結びついて財政を維持していた点が室町時代の大きな特徴です。
問9	答え 3 万葉集と御伽草子	浦島伝説は、奈良時代に編纂されたわが国現存最古の歌集である「万葉集」において、高橋虫麻呂によって歌として詠まれています。その後、室町時代になると、当時の民衆の間で親しまれた挿絵入りの短編物語である「御伽草子」の代表的な作品の一つとして、物語の形式が整えられました。
問10	答え 4 水墨画 - 雪舟	室町時代には、禅宗の影響を受けて墨の濃淡のみで表現する水墨画が好まれました。雪舟は明に渡って本格的な技法を学び、日本の水墨画を大成させた人物として知られています。紀貫之は平安時代の歌人、近松門左衛門は江戸時代の人形浄瑠璃の作者、鑑真は奈良時代に仏教を伝えた僧侶であり、時代や分野が異なります。
問11	答え 2 徳政令	室町時代には、物資の輸送を担う馬借や農民らが団結し、高利貸しを営んでいた酒屋や土倉に対して借金の帳消しを求める「土一揆」が頻発しました。幕府がこれらの一揆の圧力を受けて出した、借金を無効にする法令を徳政令と呼びます。
問12	答え 2 足利尊氏	鎌倉幕府を滅ぼす際に貢献しましたが、その後の後醍醐天皇による公家を重視した政治に武士たちが不満を抱いたため、それらの武士をまとめて独自の政権を樹立しました。これが室町幕府の始まりです。
問13	答え 2 村の話し合いである寄合を開き、用水の管理や治安維持などを自主的に行った。	惣（惣村）では、農民たちが寄合と呼ばれる話し合いを行って村の決まりを定め、用水の管理や自衛などの自治活動を自主的に進めました。営業の独占権を得たのは「座」、連帯責任を負わされたのは「五人組」、商品の価格などを協定したのは「株仲間」の説明です。